

## □ 要請番号 (JL02419B03)

募集終了



| 国名  | 職種コード 職種 | 年齢制限         | 活動形態 | 区分        | 派遣期間 | 派遣隊次              |
|-----|----------|--------------|------|-----------|------|-------------------|
| ラオス | G130 柔道  | 20～45<br>歳のみ | 個別   | 交替<br>7代目 | 2年   | ・ 2020/2 ・ 2020/3 |



## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名 (日本語)

教育スポーツ省

## 2) 配属機関名 (日本語)

ラオス柔道連盟

## 3) 任地 (ビエンチャン市) JICA事務所の所在地 (ビエンチャン市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (- で 約 0.0 時間)

## 4) 配属機関の規模・事業内容

ラオス柔道連盟は柔道の発展・普及のため、柔道選手の強化、指導者の育成、国内大会の運営、国際大会への選手派遣等を行なっている。活動場所となる武道センターは2009年に日本の支援で建設された施設で、柔道の他にも合気道、空手、剣道、合気道などの武道が行われている。JICA海外協力隊は現在までに長期6名(シニア海外ボランティア4名含む)、短期14名が派遣されている。コーチはJOCVを含め3名。ラオス国柔道ナショナルチームは、2017年のSEA Games(東南アジアスポーツ大会、於マレーシア)において銅メダル1(81kg以下級)を獲得した。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

ラオスにおける柔道人口は約130人であり、周辺国に比べ著しく少ない。競技レベルの向上には、柔道人口の増加に加え、対外試合で経験を積むことが必要であるが、国内大会では参加する選手の顔ぶれに限られているのが現状である。現在活動中の6代目JOCVは、武道センターを中心にビエンチャン市内にある高校や小学校を訪問し1人で指導を行い、柔道普及のために若年層への指導や指導者育成のために活動を行っている。武道センターはテスト前など時期によっては人が集まらないこともあり、定着には時間がかかることが予想されることから、後任要請に至った。

## 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- ナショナルチームに対し指導を行い、国際大会で好成績をおさめられるレベルを目指し強化を図る。
- ビエンチャン特別市の学校の巡回指導や初心者向け柔道教室などにより、子供や若年層への柔道の普及を図る。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

武道センター(2009年秋完工、日本の小・中学校の体育館くらいの大きさ)、ベンチプレス等のトレーニング器具

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚: ・連盟会長(60代男性)  
・コーチ2名(30代男性・柔道3段、30代女性・柔道3段)

活動対象者: ・ナショナルチーム(男性7名、女性4名、18歳～28歳)  
・ビエンチャン各道場の選手(計50名、13歳～18歳) ・若年層(100名、6歳～12歳)

#### 5) 活動使用言語

ラオ語

#### 6) 生活使用言語

ラオ語

#### 7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

### 【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（競技経験）10年以上 備考：ナショナルチームの指導をする為

[参考情報]：

- ・柔道三段以上(競技実績あれば二段でも可)

#### 任地での乗物利用の必要性

自転車

### 【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候） 気温：（10～40℃位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

### 【特記事項】